



# 学校だより 4月号



令和4年4月7日  
横浜市立三ツ沢小学校



ご入学、ご進級おめでとうございます

校長 高木 伸之

4月を待てずに満開を迎えた桜が、花吹雪となって見事な姿を見せ、皆さんの進級、入学をお祝しているかのように感じます。

3月には148名の卒業生を送り出し、昨日は入学式で151名の1年生を迎えました。2年生から6年生の子どもたちも、新しい友達や先生との出会いがあり、進級の喜びに満ちた、新たな気持ちで令和4年度がスタートしました。全校児童838名、一人ひとりがこれからの1年間、元気で楽しい学校生活を過ごしてほしいと思います。



さて、「雨だれ石をうがつ」ということわざがあります。「雨だれ」というのは、屋根や軒先からポタポタ落ちる雨のしずくのことです。「石をうがつ」とは、石に穴を開けるという意味です。つまり、屋根から落ちる小さなしずくでも、長い間、同じところに落ち続けていると、硬い石に穴を開けてしまうことから、小さな力でも根気よく努力すれば、いつかはその成果が現れるということです。新しい学年になった今、新しい目標をもつにはとてもよい頃かと思えます。新学年に向けて、新たな決意をした人もいることでしょう。目標を達成させるためには、計画を立てその計画に従ってやってみることが大切ですが、自分一人ではうまくいかないことも出てくるかもしれません。そんなときに頼りになるのが周りの人です。友達や家族、教師にも相談しながらコツコツと努力を積み重ねることこそ、実現に向けた正しい方向性だと思えます。

今年度も、コロナ禍は依然として続いています。学校では日々の授業をはじめ、体験学習や遠足、運動会など、子どもががんばれる教育活動をたくさん予定しています。

新しい学校生活が始まり、期待に胸を膨らませている子どももたくさんいることと思えますが、中には不安な気持ちを抱いている子どもも少なくないと思えます。学校ではわくわくしたりどきどきしたりする子の気持ちをしっかりと受け止めながら、だれもが安心して豊かに学校生活ができるように支援して参ります。そして、クジャクのピースやほたる、水族館等の自慢できる環境を十分に生かしながら「みとめ合い、つながり合い、ささえ合い、わたしたちの未来を創ろう 三ツ沢の子」という学校教育目標の実現を目指して、教職員一同「コミュニケーションとチームワーク」を大切に、教育活動を進めて参ります。また、お子様の教育は、ご家庭、地域の皆様と同じ方向に手を携えて進めることがとても大切だと考えています。皆様の温かいご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。